

ひたちなか市議会議員 (市民改革クラブ)

# 井坂あきら

ニュースレター

市議会レポート No.59

2015 年新春号

人にやさしいまちづくり

〒 312-0012

ひたちなか市馬渡2917-94

TEL 029-274-3845

FAX 029-274-4088

HP <http://www7a.biglobe.ne.jp/~isaka/>

Eメール [isaka-akira@kej.biglobe.ne.jp](mailto:isaka-akira@kej.biglobe.ne.jp)



元旦 初日の出 (阿字ヶ浦海岸)

## 新年を迎えて

新しい年をお元気にお迎えのことと思います。年末の総選挙は政権継続となりましたが、平和憲法を変えてはいけません。景気は円安、物価高によりマイナスが懸念されておりアベノミクスは危うい状況にあります。消費税増税は、これからも10%に引き上げるべきではありません。今年は、暮らしがよくなり、明るい年にしていきたいものです。

## 12月議会報告

12月9日から24日まで定例ひたちなか市議会が開かれました。今回は市長選を経て4期目に入った本間市長のもと、所信表明や来年度予算の見込みなどが議論になりました。

経済情勢と今後の市政運営については、私は9月定例会に質問致したところです。今回、国の方針を受けて補正予算の提案があり、予算委員会で質問しました。文教福祉委員会では佐野中のグランド拡張のための用地買収と介護保険制度に関する条例改正について審議しました。また、請願「手話言語法制定」は採択となりました。

## 「子ども子育て支援」新制度について

### 質問：井坂議員

保育所の待機児童の問題や幼稚園と保育所の一元化、認定こども園の創設など 2015 年 4 月には、「子ども子育て」新制度が市町村の責務のもとにスタートすることになっていますが、市はどのように取り組んでいくのか伺います。

- ①「子ども・子育て支援新制度」によって何がどう変わるのか。市の制度の拡充策みについて
- ②「妊娠期からの児童虐待防止対策」の取り組みについて
- ③ひとり親家庭が子育てしやすい環境をつくるために

### 答弁 黒沢福祉部長

#### 1 「子ども子育て支援新制度」について

認定子ども園、幼稚園、保育所を通じた共通の給付や 20 人未満の児童を預かる小規模保育事業を給付の対象とするための認可基準の創設に加え、地域の子ども子育て支援において利用者支援事業等を新設するなど、現行制度をさらに拡充する内容となっています。

審議会では昨年度までに実施した子ども子育て支援ニーズ調査の結果も含め、本市の実情を反映した制度となるよう検討を進めている。

#### 2 児童虐待の発生を防止するための妊娠期からの取りくみについて

厚労省の報告によると平成 23 年度の子どもの虐待による死亡の加害者は実の母親が最も多く、全体の約 6 割を占めております。こうした現状を受け、国は現在策定中の第 2 次すこやか親子 21 における重点課題の一つに妊娠期からの児童虐待防止を掲げ、児童虐待の発生防止には妊娠届出時など妊娠期から関わるのが重要であるとしております。

本市では、本年 4 月から市内の出産できる傘下の医療機関の医師や助産師の意見を取り入れ、妊産婦連絡票を作成し、効果的な情報交換を図るための連携体制作りを進めております。また、妊娠期の支援としまして電話やメールを通して健康相談を行うほか、必要に応じて自宅訪問等を行うなどして妊婦の不安解消に努めています。さらには、虐待する恐れのある妊婦を早期に発見するため妊娠届出書のアンケート内容の充実を図ると共に、来年度は保健師、助産師等の資格を有する母子保健コーディネータを配置し、母子保健サービスの入り口である母子健康手帳交付時に妊婦一人ひとりの状況に応じた相談や支援を行うことを検討しています。

---

3 ひとり親家庭が子育てしやすい環境をつくるための使い勝手のよい制度については、現在ひとり親家庭への支援策の一つとしまして、経済的負担を軽減するために児童扶養手当を支給しております。児童扶養手当は児童の健やかな成長とひとり親家庭の自立支援を目的に保護者に支給するもので平成 26 年 8 月末現在、本市の受給世帯は 1618 世帯となっております。

ひとり親家庭高等技能訓練促進費等助成制度は、ひとり親家庭の生活の安定のため、ひとり親家庭の親が看護師や保育士、作業療法士等の資格の取得を目的として 2 年以上の養成過程で終了する場合、費用の一部を助成するものです。この制度は、就業中のひとり親家庭の経済的負担を軽減させると共に、就職に有利な資格取得を対象としていることから就労の促進が図られるものであり、これまでに平成 24 年に 1 人、平成 25 年度 3 人、本年度 4 人に対し助成を行っております。

さらに、ひとり親家庭に限定される子育て支援策ではないが、家庭において保育や療育を受けることが一時的に困難となった乳幼児を保育所等において、日中、一時的に預かる一時預かり事業や市が契約する児童擁護施設や里親において原則として最大 7 日間預けられる子育て産期支援事業（ショートステイ）もあります。

## 議会改革へ前進!

### 「市議会講演会」を開催しました

11 月 27 日、「市民から信頼される議会へ」というテーマで市議会講演会を開催しました。講師は、ローカルマニフェストなどを提起してきた北川正恭先生で、なぜ議会改革が必要なのかを熱心に説かれました。市議会本会議場が議会以外の用途で使われたのは初めてで、市議会議員・一般市民等 90 人が参加しました。

### 議会報告会を開催します

ひたちなか市議会では、議会改革の一環として、市民に開かれた議会を目指し、本市初となる議会報告会を開催します。

報告会当日は、市議会議員が議会活動の報告や市民の皆様との意見交換を行います。どなたでもご参加できますので、ぜひお越しください。

日 時	場 所
2月14日（土曜日）午前10時から	佐野コミュニティセンター
2月14日（土曜日）午後2時から	那珂湊コミュニティセンター
2月15日（日曜日）午前10時から	ワークプラザ勝田2階 大会議室

※各会場とも、開始時刻の 30 分前から受付を行います。

## 10月～12月の行動日誌

- 10月 1日 脱原発学習会  
11日 国労水戸地本大会  
12日 市民運動会(前渡地区)  
16日 文教福祉委員会保育所視察  
17日 議会運営委員会  
19日 向野自治会「秋まつり」  
21日 社民党常任幹事会  
24日 那須塩原市議会研修  
25日 社民党街頭演説会  
28日 文教福祉委員会  
食と緑、水を守る市民の会  
29・30日 市議会議長会研修会
- 11月 1日 市政20周年セレモニー  
3日 平和憲法の集い  
4日 議会運営委員会  
6日 文教福祉委員会  
8日 鉄道退職者の会総会  
9日 市長選告示  
15日 社民北関東ユース会議  
16・17日 社民党北関東B総会  
19日 議会運営委員会  
20日 各コミュニティセンター訪問  
21日 衆議院解散  
25日 土井たか子さんお別れの会  
27日 市議会講演会(北川正恭氏)
- 12月 2日 議会運営委員会  
3日 予算・決算委員改選  
5日 県議選玉造候補出陣式  
7日 笠間市議選石松候補出陣式  
9日 定例会開会(本会議)  
15・16日 一般質問  
18日 予算委員会  
19日 文教福祉委員会  
社民党常任幹事会  
24日 本会議(閉会)



10/19 向野自治会「秋まつり」で竈の係(赤飯づくり)



10/24 那須塩原市議会研修会(議会報告会について交流)

### 編集後記

2014年夏、私たちがビックリ仰天するとんでもない出来事がありました。カラ出張などで政務活動費を懐に入れていたあの“号泣県議”の出現です。その後、とんでもない議員たちのご乱行が各地で表面化しました。こんな人たちが地方議員をしていたのかと驚かれた方がいるでしょう。「地方議員とはいったい何なのだ?」「ひたちなか市議会はどうなんだ」と。11月27日に開催された市議会講演会は「市民から信頼される議会へ」というテーマでしたが、情勢にピッタリの内容でした。議会改革に踏み出す意味が再認識できました。会議場にはホワイトボードを必ず用意することや、民意を受け止め、徹底して市政に反映することが改革の第一歩であると学びました。